

令和7年度 福井県立若狭高等学校(全日制)スクールプラン

業務改善のための取組	人権教育の推進
・デジタル採点やロイロノート、Teamsの活用等を通して業務の精選と効率化を推進。 ・部活動休養日の遵守。協同管理による部活動の運営，主顧問・副顧問の役割分担。文化部副顧問の役割拡大。部活動指導員の活用を通して教員が休養できる環境を整備。 ・変動制勤務時間の採用。事務手続きの電子化、簡素化の徹底。 ・定例職員朝礼の廃止、職員会議・運営委員会等の各会議の効率化、開催数の削減と短時間化。担任・副担任の協働推進。 ・生徒への配付物、PTA等、行事における保護者への配付資料をPDF化し、紙の使用量を削減。	・人権意識の向上をはかり，相互に個人として尊重する態度を養う。 ・差別をなくすために真剣に努力する態度を養う。 ・感謝の気持ちを大切にし，全体のWell-beingの実現をはかる。

重点目標

教育課程・学習支援	PTA・同窓会・地域との連携・式典統括・環境整備	図書・情報等の管理と発信	生徒のキャリアサポート	探究的な学習の推進	自主・自立の精神，自他の敬愛と協力の精神の育成	保健管理・教育相談	各部署・各学科・各学年との連携によるきめ細かな生徒支援	学習／環境の整備
教務部	庶務部	図書DXセンター	キャリアサポートセンター	SSH・研究部	生徒支援部	保健部	学年会	事務部
教職員の授業力の向上	P T A ・ 同 窓 会 ・ 地 域 住 民 と の 連 携 に よ る 「 開 か れ た 学 校 」 づ く り	① D X に 伴 う 教 育 環 境 整 備 促 進 ② 図 書 室 の 利 用 促 進	①「ライフデザイン教育」の推進 ②データに基づいた学習計画の作成と情報の共有	①「楽しくなければ探究じゃない」をスローガンとし、探究的な学習の充実による生徒の課題発見能力の育成 ②SSH・国内外の高校・大学等との連携によるカリキュラム開発と評価方法の研究開発 ③教科「探究」の研修会等を通じた教員コミュニティ形成	①自己肯定感の向上と他者を理解し尊重できる心の育成 ②自律心と規範意識の醸成 ③生徒会活動の充実 ボランティア活動の充実 部活動の充実	①生徒の健康や体力増進に対する意識の向上 ②学習環境の整備 清掃活動に自主的に取り組む姿勢の育成 ③校内各部署・各学年会や外部専門機関との連携による、悩みや問題を抱えた生徒への迅速かつ適切な対応	①教員間の連携による生徒のキャリア支援 ②保護者との綿密な情報交換による信頼関係の構築	①生徒や教員が安全で快適な施設環境の整備 ②事務手続きや会計の効率化

具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組
各教科等における見方・考え方を明確にした授業の実践を通して、知識の構造化を促し、思考・表現・判断する力の育成を図る。 ・教科会の充実 ・教員の授業交流・研究の活性化 目標 ねらいを共有した互見授業への参加2回以上 80%以上	P T A 総 会 ， 各 委 員 会 活 動 ， 同 窓 会 総 会 な ど の 場 で 積 極 的 な 参 加 と 意 見 交 換 の 充 実 に 努 め る 。 目標 ・ P T A 総 会 の 参 加 率 60% 以 上 ， 満 足 度 85% 以 上 ・ 各 委 員 会 の 参 加 率 80% 以 上 ， 満 足 度 85% 以 上 ・ 同 窓 会 総 会	① I C T 環 境 の 強 化 を 図 り ， 授 業 の D X を 目 指 す 。 目標 授 業 で 毎 日 タ ブ レ ッ ト を 活 用 す る 教 員 ・ 生 徒 100% を 目 指 す ② 読 書 案 内 や 新 刊 図 書 の 情 報 発 信 を 充 実 さ せ ， 図 書 室 の 利 用 者 数 増 加 を 図 る 。 目標 生 徒 の 図 書 室 利 用 満 足 度 80% 以 上	①「ライフデザイン講座」を開講する。従来は学問発見講座など年間で数回しか実施できていないことをふまえ、令和7年度は放課後に地元で働く社会人、大学等各種学校の先生、本校OB・OGを講師に招き、様々な分野に関する講演会や交流会を開催し、生徒が自分の将来や生き方、職業や地域について(自分ごととして体験・経験し、)未来を考える機会を提供していく。 目標：自分の将来や生き方、職業や地域の未来について考える機会を得た生徒90%以上 ②各種試験の分析を教科会でを行い、今後の対策を検討し実行していく。教科と担任で情報を共有し、全校体制での進路支援の確立を目指す。 目標：定期考査、模擬試験等の実施後、見直しや弱点克服を行った生徒90%以上 定期考査、模擬試験等の実施後、結果分析を行った教員90%以上	①教科「探究」に関する授業研究を組織的に行うために、「探究」の各科目のリーダーと探究科主任が定期的に打ち合わせを行う。 ②教科「探究」に関する授業力の向上を図るため、各科目内の授業担当者が定期的に打ち合わせを行い、授業のあり方について研究を深める。 ③教科「探究」に関する研修会等により、担当者の授業力を向上させるとともに教員間のコミュニティを形成する。 目標 ・教科「探究」にて持続的課題深化力を獲得したと認められる生徒が80%以上 ・科目リーダーとの打ち合わせを月に1回以上行った教員が80%以上	①各活動において、自己理解と多様性の大切さを理解させることに努め、思いやりや助け合いの精神、その実践力を高める。 目標 偏見に基づく差別やいじめなど、心身を傷つけるような案件の発生を予防する。学校生活を振り返り思いやりのある行動がとれたと自覚できる生徒80%以上を目指す。 ②8時20分までに教室に入ることを奨励し、5分前行動を習慣づける。 目標 不注意による遅刻がゼロの生徒90%以上を目指す。 ③自主的、自治的な特別活動の推進と充実に努める。 目標 生徒会行事・部活動・ボランティア活動への積極的な参加や取り組みができた生徒90%以上を目指す。	①検診結果をもとに自己の健康状態を把握させ、日常的に生徒自ら健康管理ができるように努める。 目標 生徒の健康管理・体力増進に対する意識向上率80%以上 ②時間いっぱい清掃に取り組ませるとともに、教室や身の回りの整理整頓、ごみの分別など環境整備に努める。 目標 生徒の自主的・積極的な清掃取り組み率85%以上 ③個々の生徒に応じたきめ細やかな面談等における生徒、保護者への対応及び見立て、手立ての明確化 アンケート等による生徒の状態把握及び面談記録の記載と関係者の情報共有 目標 生徒の問題対応においての手立てや解決策・安心感についての生徒・教員の満足度80%	①キャリア実現に向け、3年間を見据えた計画・実施・再検討を各学年団で共有する。 目標 進路研修や進路LTを通して、自身の進路について考えを深めることができた生徒 80%以上 ②日頃の保護者連絡および保護者会での情報共有を密にし、地域や保護者へ教育内容を分かりやすく提示する。 目標 保護者会の満足度 80%以上 ②旅費手続きや私費会計のペーパーレス化やForms（QRコード）を利用した通学証明書・在学証明書の発行手続きのDX化 目標 取り組み件数 3件	①緊急的な特別工事の実施 目標 工事件数 7件